

平成21年度 総会議事録

大崎上島町地域協議会

平成21年6月18日午後6時 大崎上島開発センターにおいて平成21年度総会を開催した。定刻18時となり、榎本江司事務局長より総会開会が宣言された。式次第に従い、松浦真英会長より開会挨拶をおこなった。続いて来賓としてご出席を賜った大崎上島町長 藤原正孝様より、祝辞をいただいた。このあと藤原町長は次の予定のため、退席をした。議事に入る前に本日の総会の成否について榎本事務局長より以下の報告があった。

議決権のある理事総数 21名
出席理事数（委任状2名を含む） 19名
以上の通り本総会の議決は有効であるという報告があった。

議事に入るにあたり、構成団体の人事変更に伴う新任理事がおられるため出席理事の自己紹介をおこなった後、人事変更により空席となった副会長に谷口武文氏を選任した。

事務局よりNPOかみじまの風との平成20年3月31日までの「業務分担協定書」の説明があった。

議事録署名人として企画課亀山課長、商工観光課吉本課長が指名され、両名は承諾した。

榎本事務局長より、総会議長の選任について推薦を求める案内を受け、会場から「事務局一任」との発声が複数あった。これを受けて事務局より松島勇雄理事（広島商船高等専門学校 教授）を指名し、本人は承諾して議長に選任された。

以下の関連2議案が上程された。

第1号議案 平成20年度実績報告
第2号議案 平成20年度収支決算報告および監査報告について

榎本事務局長より実績報告ならびに収支決算報告について説明があった。監事である農林水産課浜田課長より監査報告がされた。議長は本件の承認を議場に諮ったところ満場異議なく承認可決された。

以下の関連2議案が上程された。

第3号議案 平成21年度事業計画（案）について
第4号議案 平成21年度収支予算（案）について

榎本事務局長より事業計画（案）ならびに収支予算（案）について説明があった。

この中で事業実施における「運用基金」についての言及があり、基金の資金をいかに捻出するかについて理事より以下の各意見が提案された。

- ・ 榎本事務局長より個人より一人あたり5万円の貸付をお願いする発言があった。
- ・ 公の団体に個人的に資金を提供するのはいかなるものか？
こういうことが各団体の前例になるのは好ましいことではない。
- ・ 他の地域協議会はどうしているのか？
これについては3月13日の理事会にも議題として上がり、調査した結果「北広島町」では行政が予算を組んで基金を積んでいる。またその他では構成団体が負担金として拠出している等様々なケースがあることを報告させていただいた。

- ・ 金融機関からの借り入れをしてはどうか？
契約上、会長の個人保証による借り入れとなり、これも問題はあるとの意見があった。
- ・ 個人で借り入れをおこない、協議会に貸し付けるという方法ではいかがかという提案が横本理事よりあった。

運用基金については次議案にて協議することとし、第3号、第4号議案について議長より議場に諮り、満場異議なく承認可決した。

第5号議案 運用基金について

事務局より事業を推進するにあたり、当事業が「精算払い」となるため、「運用基金」の必要性を説明した。

「運用基金」については、横本理事の貸し付け提案を承認することとし、事務局より提案した個人基金について各意見を調整後、今一度検討をして各理事に再度諮ることとし承認可決した。

その他として松浦会長より東野地区長谷川南城氏を専門員に推挙する発言があった。

議場よりこれから事業を進めていくうえでさらに関係各団体より専門家等の選任の要請をしていき事業の円滑な推進をしていかなければならないのでそのとき他の方々と同時に就任要請をしてはどうかとの意見があり、そのようにすることで議決した。

また行政各部署（企画課、商工観光課、農林水産課、教育委員会）より若手事務局員候補の推薦要請が事務局よりあり、検討していただくことを決した。

その他緊急動議はなく、議長は以上をもって本日の議事をすべて終了した旨を述べ、議事は終了し、議長は職を辞した。

松浦真英会長より閉会の挨拶がおこなわれ、午後7時20分散会した。

以上決議を明確にするためこの議事録を作成し、議事録署名人により以下に署名押印をする。

平成21年6月18日

議事録署名人 印

議事録署名人 印